

2学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年通信 95号 通算 159号

2017. 1. 17 (火) 発行

平成 29 年 1 月 14 ~15 日のコト

横山



2年連続して年末年始に雪が無く「もしかして東北の気候も温暖化？」という喜びもつかの間、やはり、いつもと同じ冬を迎えました。このドカ雪が、何もセンター試験のときじゃなくともと思うのですが、雪の無いセンター試験も味気ない(?)。おそらくは、来年も同じようなお天気で2年生諸君のセンター試験を迎えるのでしょう。平成 30 年(西暦 2018 年)のセンター試験は今年より 1 日早く 1 月 13~14 日です。正確に言うと、今日から「あと 359 日後」となります。ですから、2年生諸君のセンター必勝法は、唯一「先行逃げ切り」なのです。

さて、ここ数年センター試験朝の風物詩となったのは「Y田先生のヘアアート」です。私は彼の後頭部を見るために毎年早起きしていると言っても過言ではありません。今年は「克己」です。これはおそらく論語の「克己復礼」から来ている熟語だと思います。私の高校時代は、学則よりもコチラの四文字熟語の印象が強いのはなぜでしょう。前山学年の目標だったのかもしれませんが。ともかく、吉D先生の今年は克己つまり「己に克つ」だったのです。誰に克つより何より「最大の敵は自分だ」と実感する人も多いことでしょう。そのような戒めの言葉です。ちなみにY田先生の頭を剃ったのは誰なのでしょう。ナスカの地上絵を描いた生命体と筆跡が似ているそうです。なお、今はもう消えて無くなっています。不思議です。



毎年「スゴイ！」思うのは、インフルエンザ等により欠席する3年生が常に皆無という事実です。ここ 10 年はそうですし今年も全員受験しました。あたり前ようですが、200 名全員が高い意識を持ち、適切な予防をしなければ実現できないことです。さて、2年生諸君はどうでしょうね。なお、一番上写真の○ッカー部男子は、朝 7 時に来た「かなり早い人」です。この段の理○科の彼女は最後の方で 8:30 到着ですが、集合時間に十分間に合います。3年生の学年団&進路指導課(と私のような朝目覚めの早いオッサン?)の先生方は、朝 6:30 には集合し3年生の到着を待ちます。それは 2 日目の 15 日も同様です。3年生は先生方の激励を受け(不安を払拭してもらい)エネルギー満タン&元気に受験に向かいます。実は終了後も同様です。先生方は工学部前で生徒を待ちます。明日も頑張れと声を掛け、もし落ち込んでいる生徒がいれば大丈夫!とフォローします。米興センター試験は、全校生徒全職員で立ち向かう一大行事なのです。

この土日は吹奏楽「アンサンブルコンテスト県予選」が酒田で行われます。以前の通信に掲載したように、米興吹研から 2 つのグループが出場します。今年は「できるだけ部活動を応援したい！」という思いもあり、3年生を見送り一路酒田へと向かいました。ご存じのように 13 日(金)から今年一番の寒気が日本列島に襲来し、この日は新庄市経由で向かったのですが、事故や立ち往生する車の屍累々でした。実は、酒田は私の「第 2 の故郷」なのです。この悪天候の中、酒田に行こうと決めたのは「吹研そして酒田への愛」です。教員として新規採用から結婚、子育てまでの 11 年、本当に酒田は大好きでした。今回行こうと決めたのは「なぜ私は酒田を愛したのか？」を巡る旅路でもありました。ここにある 1 枚の魚拓 → これは私がよく食べに行っていた酒田駅前の食堂に「今も飾ってある」ものを撮影してきました。1995 年に私が初めて釣ったスズキです。思い出深い話なので、少しそのときのことを書かせて下さい。



当時、私は県立遊佐高等学校に勤務していました。遊佐町は鳥海山の麓に位置し、山や海はもちろん月光川や牛渡川など日本を代表する銘川もあり、私のような釣好き・自然好きには天国のような場所です。この遊佐で体験したことを挙げると、

- ① 初冬、学校の用水路によく鮭が遡上した。校庭の湧水にイバラトミオが生息していた。
- ② 通年、校舎内によくキジが飛び込んできた。次の日のお昼は決まって鍋だった。
- ③ 夏の夜、学校近くの田んぼで数百~数千のホタルが乱舞する。
- ④ 必修クラブで「職漁釣技」を開講し投網の投げ方を教えてくれる先生がいた。
- ⑤ 晩秋、落ちアユを 1 晩で 500 匹釣った(私の最高記録)。
- ⑥ ナマズを 30 匹以上捕獲しウナギの蒲焼と偽装して皆に振る舞った(がバレなかった)。

どれだけ自然豊かなトコロか想像できると思います。そんな 1995 年 6 月 16 日金曜日の職員室。いつものように「潮汐表・潮見表」を見ていて、「今日は稀に見る大潮だ!」と気づいたのです。海面の高さは「1 日 2 回」高低します。これは「月の引力と地球の自転による遠心力」の影響です。また、ほぼ 27 日周期でも高低します。これは「太陽と月、地球の位置関係」によるものです。この「潮の動き」と魚の活性に相関があるのです。大潮から急激に減少する時間が、ちょうどこの日の夕方だったのです(ちなみに川の魚はもちろんですが、我々人間も影響を受けていると言われます。誰か研究してみませんか?)。吹浦港のテトラポットから「スーツを着たまま」私はルアーを投げました。その 3 目投目、ダイワチヌーク金赤 8g をドンガバチョ!と喰ったのです。数十分のやり取りの後、巨大なスズキが足元まで寄ってきました。しかしタモが無い。しかし私の初スズキ。何の迷いもなく、竿を持ったまま海に飛び込み両手でキャッチ!そのまま車のトランクに放り込みムサシで障子紙と墨汁、筆を買って取った魚拓がそれ↑。その後、三枚に下ろして墨臭いサシミの美味しかったこと。そんな思い出を 20 年以上も大切にしてくれている酒田のお店。その夜はお店の女将さんと思い出話に花が咲きました。しかも「今日は来てくれてアリガトノ」という庄内弁に見送られて。「持ち返る?」と言われ「もう少しココに置いてくれるかな」とお願いした。私はこの魚拓がある限り酒田に来ようと思う。また帰れる場所があることを嬉しくも思う。吹研のアンコンチームは満足する結果で無かったかもしれないけれど、私の思い出の地であり「土井先生生誕の地」である酒田で演奏したことを忘れないでほしい。そして、またいつか酒田を訪れてほしいな。

平成 29 年 1 月 15～16 日のコト



実は昨日、夕方には帰宅したのです。1月15日は小正月。私の集落で「やははいろ」が行われるからです。皆さんは「やははいろ（やははえろ）」って知っていますか。藁や萱を束ねて高く積み上げて燃やす伝統行事です。地域によって「さいと焼き」とか「どんど焼き」とも言われています。私はこの行事（神事）が好きなのです。昔は「ゴミは家庭で燃やすモノ」であり、どの家でも庭でジャンジャン燃やしていたものです。幼い頃、私の仕事は「もくたき（ゴミを燃やすことの方言か?）」でした。しかも、その仕事が「結構好き」でもあったのです。火を見ていると心が落ち着くのです（と言うと今は危険と思われるかな）。しかし「二酸化炭素は地球温暖化の元凶です」という時代を迎え、家庭でも学校でも火を見ることは大変少なくなってしまいました。このことは少しだけ「心残り」であったのです。ですから、私は結構BBQをしますし花火もします。それは火を見て感じるためです。変なことを言っているかもしれませんが、無意識に求めているような気がするのです。皆さんの地域ではこのような行事がありますか。私はずっと残していきたい行事の1つなのです。でも、火の始末には十分注意しましょう。

さて翌日16日はセンター試験「自己採点」です。朝から3年生の先生方や生徒達に緊張が感じられます。大学入試は「センター試験が全て」では無いのですが、今後の出願に大きく影響するのは言うまでもありません。米興3年生は大変素晴らしい健闘をしたと思います。ですが「万事、誰もが自分に実力以上の期待」をします。ですから「十分満足できる結果」と実感する生徒は少数で、大方は悔しい思いをしているはずです。私も自分の自己採点の日の夜のことは忘れられません。きっと、そんな思いで「今」を過ごしている3年生がいることでしょう（16日の夜に書いている）。そんな子達には、実はかける言葉はありません。何を言っても結果は変わらないからです。ですから、私は今日から暫くは3年生やその担任の先生方に声を掛けることを自制します。ここからが「本当の最後の戦い」と思うからです。「本当」は自分自身で戦わなくてはなりません。第1志望を貫くのか、第2、第3志望とするか、中期や後期をどうするか、私大受験はどうするか。ここからの決断は自分自身で決めなくてははいけません。そういう意味で「自分との戦いの期間」なのです。「こうしたらこうなる」なんて保障はありません。「これが正解」という最適解はありません。ですから「どのような出願をするか」は、本人はもちろんですが担任の先生方も苦しいのです。そんなとき、私は見守るしかないと思うのです。勿論「どうしたらいいでしょう?」と相談があれば共に考えます。けれど、それでも最終最後は自分で決めるしかないのです。また、その大きな決断をするからこそ「自分の選択に誇りを持って生きていく」という自信にもなるのです。

今日、授業で文系生に「そんなアナタでいいのか!」と檄を飛ばしました。私に怒られるとか何とかより「アナタにも今日という日が必ず訪れる」という現実を直視することです。文系生に限らず2年生諸君には「まだ決意は甘い」と感じます。それは目付きや物腰を見ればわかります。まだまだです。「十分だ」と自分を甘やかすより、「まだまだ不十分だ」と自身を鼓舞した方が成長できるのです。それぞれが頑張っているとは思いますが。しかし「まだ見ぬ無限の可能性を秘めている」と思うのです。これから1年余日の高校生活があるのだから、最大限に成長して卒業してほしいと思う。自己採点の今日。いつもに増してそのような思いを強くした。頑張ろうぜ、米興2年生!!

平成 29 年 1 月 16～17 日のコト

そんな16日の夜。1人の1年生男子が「フェンスに猫が挟まっていて出られません」と涙目で職員室を訪れました。おそらくは近所に住む子猫なのだろうけれど、フェンスに首が挟まってしまったのです。急遽、猫救出し隊「大輔・片桐・コージロー先生」を編成し（アンタは行かないのかい!）助け出しました。相当冷えていたようですが、生物室で温め食事を与えたら元気になったそうです。その後、その黒子猫はエントランスにやって来て、机の上から離れようとしません。私は助けてくれた3人+1人に感謝を言いに来たと思うのですが、あまりに可愛らしいので抱きしめてしまいそうになります。しかし我が家には、マメ太↑&チャットがいて、さらに黒子猫ちゃんを飼うことは叶いません。「ここで抱きしめるのが優しさか否か」なんて考えさせられてしまいました。センター試験から出願までの間、毎年私はそのような不安定な気持ちになるのです。それは3年生の不安とは比べものにならない程度のものですが。ともあれ、黒子猫ちゃんには元気に生きて行ってほしいものです。そして、大人猫になったら人間に変身して猫の恩返しをして下さいね。大輔先生はきっと待っていることと思います?



表面のスズキの年である1995年の今日1月17日は「阪神・淡路大震災」があった日です。今朝は地震のあった「5時46分」に黙祷をささげる神戸市民の姿が映し出されていました。22年前の今日6434人の尊い命が失われたことは、東日本大震災そして熊本大地震とともに2年生諸君は記憶しておくべきです。そして、今日という日を迎えることのできた奇跡に感謝し、日々誠実な学びをしなければなりません。また午後の予餞会では、精一杯3年生にエールを贈りましょう。頑張れ3年生、頑張れ2年生、そして頑張れワタシ!!

<今年の予餞会 出し物一覧>

吹奏楽研究クラブ

- | | | |
|-----|------|------------|
| 1-1 | 動画 | 歌詞動画 |
| 1-2 | 動画 | 映像メッセージ |
| 1-3 | 動画 | プレイバック2016 |
| 1-4 | 劇 | ポケモン実写版 |
| 1-5 | 動画+劇 | 帰ってきた聖子さん |
| 2-1 | 動画 | 魔法使い候補生の日常 |
| 2-2 | 動画 | バカッコイ |
| 2-3 | 動画 | 火曜日の2年3組 |
| 2-4 | 動画 | 先生方へのドッキリ |
| 2-5 | ? | KOJOステーション |



↑ 昨年の予餞会の様子

インフルエンザ警報発令中!

今日現在、約10名の2年生がインフルエンザA型に感染しています。自分自身はもちろんですが3年生に拡大させてはいけません。各自ができる最大限の予防対策を行って下さい。ヨロシク!